

特集：市民参加で自然しらべ

信州・温暖化ウオッチャーズ～セミの抜け殻調査

畑中健一郎・浜田 崇

■信州温暖化ウオッチャーズへ登録しませんか

地球温暖化が進むことで、花の咲く時期や、鳥や虫たちの鳴き始める時期が変わってくるかも知れません。研究所では、このような温暖化の影響を市民の方々と一緒にモニタリングするための仕組み作りを始めています。一緒にモニタリングに参加していただける方は、まず「信州・温暖化ウオッチャーズ」にメンバー登録をしていただき、インターネットを通じて情報をお送りください。今後は、メールやFAX等でも情報を送ることができるようにする予定です（「みどりのこえ」No.44参照）。集めた情報は研究所でデータベースとして整理し、「信州・温暖化ウオッチャーズ」のページなどを通じて、多くの市民の皆さんに、信州で起きている自然環境の最新の変化を発信していくつもりです。

■関連講座「セミの抜け殻調査」

この夏、この市民参加型モニタリング調査と関連したイベントとして、「みんなで温暖化ウオッチ～セミのぬけがらを探せ!」という市民向けの講座を開催しました。8月上旬に長野市、上田市、飯田市の3会場で開催し、たくさんのご家族にご参加いただきました。みんなで楽しくセミの抜け殻を集めて、その種類と数を調べ、地域の環境とセミの種類の関係について学びました。自分たちが住む地域にどんなセミが生息しているのか？ 今後さらに温暖化が進むとセミたちはどうなるのか？ 講座終了後には、チビッコセミ博士がたくさん誕生していました。

今回の講座は、セミの抜け殻を利用した市民参加型モニタリング調査を行うための、いわば説明会のような意味合いもこめて実施しました。この講座をきっか



セミの抜け殻を探す子どもたち



何ゼミかな？

けに、温暖化とセミの関係に関心を持っていただき、ぜひとも「信州・温暖化ウオッチャーズ」の一員となって、どこにどんなセミがいたのか報告をしていただけたら、主催者としてはうれしい限りです。

来年度以降も、今回実施した講座と同様のイベントを多数行い、県内各地に“ウオッチャーズ”の仲間を増やしたいと思っています。“ウオッチャーズ”からいただいたセミの情報をもとに、最終的には長野県内のセミの分布図を作りたいと考えています。今後、温暖化がさらに進むと、クマゼミなど、現在は県内にほとんど生息していないセミが増えてくる可能性があります。分布図はそうした変化を確認するための基礎的な情報として非常に重要になります。

セミの抜け殻は、子どもでも簡単に見つけることができ、温暖化をみんなで“ウオッチ”する格好の素材と考えています。もしこのような取り組みに関心を持っていただけたなら、ぜひ研究所までご連絡ください！



一番たくさん集めたのは誰かな？